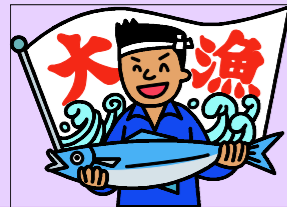


おちいし
落石地区マリンビジョンニュース
 2008.10 vol.2



落石地区マリンビジョン協議会では、様々な人たちと連携してビジョンを実現するために取り組んでいます。その取り組み内容を随時お知らせするため、「落石地区マリンビジョンニュース」を発行しています。ご感想、ご意見等お寄せ下さい。

発行・編集：落石地区マリンビジョン協議会事務局

「大地みらいフットパス・ウォーク」浜松地区コースに133名が参加

落石地区マリンビジョン協議会では、フットパス大会に備え、8月21日に浜松町会会長ら25人が参加して、高さ70mほどの崖を降りる道の草刈をした後、特に傾斜が急な部分に階段を取り付けるなど、浜松フットパスの整備をしました。また、大会に合わせて、「落石浜松パス岬ルート」のパンフレットも作成しました。パンフレットには、浜松地区の漁師たち25名も写真つきで紹介されています。ぜひ一度ご覧下さい。

9月6日(土) 遠くは東京・横浜各1名、札幌市22名、江別市1名が参加し、近隣の別海町23名、釧路市7名、中標津町4名、根室市74名を加え、計133名が参加してフットパス大会が開催されました(主催：大地みらい信用金庫、後援：落石地区マリンビジョン協議会、AB-MOBIT)。当日は、朝9時15分にスタートし、多少ガスがかかっていましたが、手付かずの動植物、「ゴンゲン岬」など断崖絶壁の迫力ある景観を楽しみました。ゴール地点の落石漁港の浜松地区では、地元食材を使った浜の母さん手作りの「たこ飯、かじか汁、さんま焼き」を味わいながら、フットパスについて語り合いました。



危険な場所を整備



傾斜が急な所に階段も整備



大勢の人たちが参加



整備した道を降りる



最後は浜の母さん手作りの味を楽しむ

大分県漁協女性部が落石で視察研修

9月16日、大分県漁協(19支部)の女性部員35名と事務局4名、計39名が視察研修のため、落石漁協を訪問しました。昨年3月、落石漁協女性部が「女性起業化グループ」の先進地として大分

県漁協杵築支部を訪問したことがきっかけとなり、落石産コンブを漁協店舗等で販売するようになりました。この縁で、今回の落石訪問となりました。

当日は、濱屋組合長ほか女性部役員、海鮮工房「霧娘」などと意見交換を行い、コンブの水揚げ状況の見学を行いました。また、昼食にはコンブで巻いた「根室サンマロール寿司」と「花咲がにの鉄砲汁」の試食も行いました。これを機会に、今後も交流を続けていきます。



初めてのコンブの水揚げ見学



意見交換も和やかに

札幌大通ふるさと市場に出展

9月20日~21日、「札幌大通ふるさと市場」に海鮮工房「霧娘」と漁協が参加し、落石水産物のPR販売を行いました。開催場所の大通公園西8丁目には、2日間で18万人が訪れ、「たこザンギ」を2日間で1,500本を売り上げるなど、すべての商品が完売し、大好評でした。販売した商品は、右のとおりです。



大勢の人で賑わった「ふるさと市場」



「霧娘」商品は大好評

霧娘

たこキムチ、たこやわらか煮、たこザンギ、さんま燻製、ミニ駄、早煮昆布、きざみ昆布、だし一番、ぽんとだし

漁協

花咲がにボイル、煮つぶ、煮つぶ味付、大ダコブロック、サンマ糠漬、サケの焼き漬、サケの味噌漬、サンマと昆布の旨煮、サンマの甘露煮、結び昆布

札幌で船上沖詰さんま「しお風」の販売促進活動

9月21日、札幌ポスフル藻岩店で船上沖詰さんま「しお風」の販売促進活動を行いました。札幌でも「さんまの刺身」が浸透してきましたが、「しお風」の抜群の鮮度の良さに、お客さんは驚いていました。「しお風」ブランドが札幌市民にも広がるのが期待されます。



「しお風さんま」いかがですか？



買い物客で大賑わい

三笠市の「秋の味覚市」に初参加

9月27日、落石漁協・海鮮工房「霧娘」を中心に、三笠市の道の駅「三笠」で行われた「秋の味覚市」に初めて参加しました。落石産のタコと三笠産の新米で作った「たこ飯・鉄砲汁セット」が特に大人気で、用意した100セットはすぐに売り切れになったほか、たこ、秋さけ山漬け、落石船上沖詰さんま「しお風」、結び昆布、たこキムチ、たこやわらか煮、サンマ燻製、アブラコの味噌漬けなども完売しました。今後も、三笠市との交流を促進していく予定です。



大盛況で長蛇の列

第24回根室産業フェスティバル開催

10月5日、第24回根室産業フェスティバルが開催され、落石漁協、海鮮工房「霧娘」、漁協女性部が参加しました。女性部は「秋あじ鍋」、霧娘は「各種霧娘商品」、漁協は「煮つぶ、たこ足など各種水産物」を販売し、落石の味覚を根室市民にPRしました。



根室市民におなじみの落石のたこ



各種「霧娘」商品にも大勢の人たち

地域振興セミナー「漁村資源を活かした観光を考える」

～愛知県日間賀島の「想いのビジネス」への取り組み～

10月8日、経済産業省の地域力連携拠点の採択を受けた大地みらい信用金庫、落石漁協、落石マリビジョン協議会は、日間賀島観光ホテルの中山勝秀古社長を講師に迎え、落石漁協でセミナーを開催しました。今年の3月に濱屋組合長ほか女性部が日間賀島を訪れ、中山社長と交流を持ったことがきっかけで今回のセミナーの実現に結びつきました。

中山社長は、他の観光地との差別化から、地域で多く漁獲されるタコとフグに着目し、見る観光から体験する観光への流れを察知し、基幹産業の漁業と自然体験をマッチングさせた企画を次々と生み出した。また、「一つ成功すると、島外での評価も高まり、島民の誇りにもなる。決して島だけで活性化はできず、島外のネットワークを有効に使うのが大事で、ネットワーク作りには島が持つ信用と信頼が大きかった」と話しました。

今後、落石地区で様々な取り組みを進めていく上で大いに参考になる内容で、漁協組合員たちも熱心に耳を傾けていました。



地域一丸となった取り組みが重要です



熱心に聞き入る組合員ら

落石地区マリビジョン協議会の活動を振り返って

落石地区は、平成17年11月14日にモデル地域に指定されました。その直後から、ビジョンの推進体制の強化に努め、地域内外の皆様と様々な取り組みを進めてきました。初めての取り組みがほとんどで試行錯誤の繰り返しでしたが、交流の輪も次第に広がり、マリビジョンは落石地区の活性化に大きな役割を果たすようになりました。今後とも、地域内外の皆様と様々な取り組みを進め、落石地区のさらなる活性化を推進していきます。

落石地区マリビジョン協議会の歩み

年 月 日	主な取り組み
平成18年1月～3月	地域振興グループほか3グループを立ち上げ、推進体制を強化
平成18年4月～6月	フットパス・フノリ増殖・ナマコ増殖等について協議、とやま昆布祭り参加、魚津漁港視察、「落石特産物祭り」をときわ公園で開催、落石三区一斉清掃、古平漁港視察、浜松地区にナマコ礁設置・ナマコ放流、「北海道じゃらん」に落石地区掲載
平成18年7月～12月	女性起業化グループ説明会（落石、浜松、昆布盛地区）第3回落石3漁港清掃、シカ捕獲協議、第1回女性起業化グループメンバー会議、地域振興・水産振興グループ等の新年度計画の協議
平成19年2月～5月	マリビジョン協議会・ワークショップ開催（2回）
平成19年6月～8月	「第1回落石・味まつり」を落石漁港で開催（2,500人集客）根室女性グループネットワーク（パネルディスカッションに参加）三里浜フットパスコースの整備
平成19年9月～10月	第2回根室フットパス大会（基調講演、別当賀コースウォーキング、試食会）第23回根室産業フェスティバル、芽室町にて産地直送品販売、品川夢さん橋（女性起業化グループ参加）
平成19年11月～12月	「苫小牧きたみなど海産物フェア」（女性起業化グループ参加）「中標津青空市場」（青年部参加）「おさかな普及・親子料理教室」（大地みらい信用金庫主催、女性部が講師として参加）「根室農村グループネットワークあらかると交流」（海鮮工房「霧娘」代表が講師として参加）活力ある漁村づくり育成事業「第1回地域リーダー研修会」参加、おさかな普及委員会「漬物教室」（女性部が講師として参加）別当賀海岸清掃（地域より100名参加）姉妹都市富山県黒部市の青年部協議会との交流会、「浜の母ちゃん直伝つけもの教室」参加
平成20年1月～5月	落石・歯舞地区マリビジョン協議会連携事業講演会（ヒロ中田氏）活力ある漁村づくり育成事業「第2回地域リーダー研修会」参加、「北海道一周浜の味フェスティバル2008」（札幌東急百貨店）参加、「e北海道根室の食材を使った料理研修会」参加、先進地視察（青年部が青森、仙台、築地）組合長・女性部が日間賀島視察
平成20年6月～8月	「第2回おちいし・味まつり」開催（3,000人の集客）浜松コース現地調査（3回）「根室さんまロール寿司」発表会、「第5回コープ札幌農業賞大賞/漁業の部」入賞
平成20年9月～10月	落石地区浜松コースにて「大地みらいフットパス大会」開催（133名参加、試食会開催）大分県漁協女性部が落石訪問（39名）「札幌大通ふるさと市場」参加、ポスフル藻岩店にて「しお風さんま」販促活動、「第24回根室産業フェスティバル」参加、地域振興セミナー「漁業資源を活かした観光を考える」開催

編集・発行・お問い合わせ先

編集・発行
お問い合わせ

落石地区マリビジョン協議会事務局
事務局 担当: 根室市水産経済部水産港湾課水産振興係
電話: 0153-23-6111 FAX: 0153-24-8692

